



CHAMPAGNE
GRATIOT-PILLIÈRE
— PROPRIÉTAIRE - RÉCOLTANT —

ニュースレター

2021年2月

親愛なるお客様

2020年第2期ニュースレターをお送りいたします。

今年も自然はブドウ畑に微笑み、2020年の収穫はグラン・クリュの予感です。ここ3年、シャンパーニュ地方の夏は日照量も温度も非常に高く、ブドウはこの恵みを受けて、素晴らしく豊かな果汁をもたらしてくれます。そのため最高のワインづくりが可能となり、大きな可能性を秘めたシャンパーニュが生まれます。2020年のキュヴェは、2018年や2019年のグランミレジムに劣らぬ出来となるでしょう。



シャンパーニュ地方では収穫量の割当が年ごとに決まっており、需要と供給のバランスが保たれています。この割当は生産者と大手グランメゾンの間で取り決められ、INAO（国立原産地名称研究所）の承認を受けます。コロナの影響を受け、2020年の販売量は約30%減と予想され、例年1ヘクタール当たり1万～1万1000kgの割当量は、今回は8000kgと小規模な収穫になりました。

収穫はかなり早期に始まった上、今までにないほどの制限を受けました。弊社では8月25日に始まりましたが、コロナが蔓延する中で、40名の作業員でソーシャルディスタンスを保ちながらの収穫は容易ではありません。畑から作業場までの運搬、圧搾、食事では、アルコール消毒液、マスク、ソーシャルディスタンスに重点を置く一方、収穫は戸外の広い場所で行われるため、より柔軟かつ自由にブドウを摘むことができました。

第1期は困難に見舞われ、お祝い事もごくわずかで、シャンパーニュを飲む機会も限られていた上に、11月には再び外出制限が実施され、年末は苦戦を強いられました。



それでも、地方のマルシェ、配達等でご購入くださる個人のお客様や、パリを始めフランス各地のワイン専門店の皆様のおかげで、12月は例年並みの売り上げとなりました。心からお礼申し上げます。奇妙な年となりましたが、結局のところ、前年比売上減は16%に抑えられました（シャンパーニュ地方全体では22%減）。

2019年12月

海外展開

2020年3月初旬には、フィンランドのヘルシンキで営業活動を行いました。この年はこれが唯一の海外出張でした（写真参照）。2月から3月にかけていくつか大型注文を出荷しましたが、その後は夏の終わりまで業務注文はなく、ようやく夏になってから年末向け注文が入り始めました。イギリス、フィフィンランド、ソムリエ協会2020年3月10日、オランダ、フランス海外領、レユニオン島、ニューカレドニア、ギアナ向けに、数パレット出荷しましたが、何よりうれしいサプライズは、2016年初めから働きかけてきた日本からの注文が入ったことです！ ふたを開けてみると、輸出量は2019年に比べてもさほど落ち込むことはありませんでした。2021年はEUを離脱したイギリスへの輸出がどのようになるか、1月から3月にかけて再び厳格な外出規制が敷かれるのかなど、イギリス向け出荷への影響が予想されます。



2020年3月10日：フィンランド・ソムリエ協会

新たな装い

トラディション、ロゼ、ブラン・ド・ブラン、ミレジム。全キュヴェが新たな装いで登場。ハイクオリティで柔らかな紙質と淡い色調が、よりオーセンティックでシックな雰囲気演出しています。字体もシンプルで軽くなって、キャップとのバランスが取れ、見やすくなりました。



さらにスムーズなコミュニケーションに向けて

2020年は、迅速かつ簡単なEメールやSMSの利点が改めて見直され、おかげでリアルタイムでマルシェでの販売情報や配達日や出荷情報をお知らせできました。弊社にとって、お客様のメールアドレスや携帯電話番号は、貴重なコミュニケーションツールです。まだお知らせいただいていないお客様におかれましては、ぜひメールアドレス等お送りいただければ幸いです。残念ながら、今後数か月は不安定な状況が続くと思われます。ご理解のほど、お願い申し上げます。

Stay connected!

泡のように爽やかな敬意をこめて

オリヴィエ & セバスチャン・グラティオ

最新ニュースをチェック

インターネットサイト：www.champagne-gratiot-pilliere.com

フェイスブック：www.facebook.com/champagne.gratiot.pilliere

ツイッター：Champagne Gratiot@GratiotPilliere

インスタグラム：https://www.instagram.com/champagne_gratiot_pilliere/